

作成：平成 15 年 2 月 6 日

修正：平成 22 年 5 月 25 日

消せないファイルを消す方法

1. cc2000 や Linux で名前が「filename」のファイルを消す方法

通常は、`apc21001(1)$ rm filename`

と実行すればファイル削除ができます。

しかし、コンピュータをしばらく使っていると、この方法では削除できない名前のファイルに遭遇することがあります。

消せないファイル名	例	理由
スペースを含むファイル名	<code>hoge hoge</code>	スペースまでがファイル名だと解釈されるため
「-」で始まるファイル名	<code>-hogehoge</code>	<code>rm</code> コマンドの引数だと解釈されるため
「~」で始まるファイル名	<code>~hogehoge</code>	あるユーザ名のホームディレクトリだと解釈されるため
「/」を含むファイル名	<code>hoge/hoge</code>	あるディレクトリに入ったファイルだと解釈されるため

などがあります。

このようなファイルを `rm` コマンドで削除するには工夫が必要です。

その方法は

```
apc21001(2)$ rm "hoge hoge"
```

のようにダブルクォート「"」でファイル名を囲みます。

次に、

```
apc21001(3)$ rm "-hogehoge"
```

ここで、`invalid option` というエラーになりました。

しかし、次のように行えば削除できます。

```
apc21001(4)$ rm ./-hoge hoge
```

このように、「./」をファイル名の前につけることで削除することができます。「./」とは、カレントディレクトリのことです。

さらに続けて残りのファイルも消してみます。

```
apc21001(5)$ rm "hoge/hoge"
```

こういうときは

```
apc21001(6)$ rm hoge*hoge
```

でも削除することは可能ですが、「hogeXhoge」というファイルまで削除されてしまいました。

ファイルは1つずつ削除することを推奨します。

そういうときのために

```
apc21001(7)$ rm -i hoge*hoge
```

を使います。

こうすると「hoge hoge」というファイルも、「hogeXhoge」も、「hoge.hoge」というファイルも対話的に削除できます。

“-i”オプションを使用することによって、その都度「削除しますか?」と聞いてきます。削除したくないときは「削除しますか?」と聞かれたときに「yes」以外を入力します。なお、ファイル名に「”」を含むファイルを消すときは

```
apc21001(8)$ ls
```

```
hoge"hoge
```

```
apc21001(9)$ rm "hoge¥"hoge"
```

のように「”」の前に「¥」を付けます。

これでどのようなファイルも削除できます。